



ごあいさつ

高14回卒 土屋 邦子



今年、関東にもたびたび雪が降り、寒さも一段と厳しい冬でしたが、こんな年は豊作であるとか、何か嬉しいことがありそうなそんな気がいたします。

さて、今年の総会に、琵琶奏者として国内外で広く活躍されていらっしゃる同窓生の半田淳子さんがお忙しいなか出席され、嬉しい事に琵琶の演奏をしてくださいました。

『祇園精舎』『敦盛の最期』等、幽玄な琵琶の世界にしばし浸っていただきたいと思います。

演奏時間も十分に予定されています。素晴らしい機会と存じますが、会場も駅から近いところですので、皆様お誘いあわせてご出席下さいますよう、お願い申し上げます。

記

期日 平成二十年五月二十六日(月)

開会 午前十一時三〇分

会場 ホテルメトロポリタン(池袋)

最寄駅 JR線・東上線・有楽町線・丸の内線

会費 九千円也(年会費千円を含む)

切日 平成二十年五月十日

※会費の振込を以って出席通知に代えさせていただきます。

※総会に欠席の場合恐れ入りますが年会費のみお振込下さい。

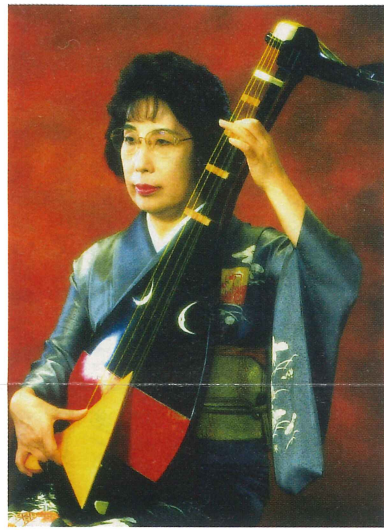
連絡先 電話 〇四九三―六五―一四九二

日 携帯 〇九〇―七二四―一九九五一

土屋 水野

第23号

発行 上田染谷丘高校 東京同窓会事務局 〒355-0363 埼玉県比企郡ときがわ町大附363-1 Tel 0493-65-1492



半田淳子プロフィール

薩摩琵琶を鶴田錦史に師事。1971年、NHK邦楽技能者育成会第16期卒業。1972年～1992年まで、日本音楽集団に在籍。これまでヨーロッパ、北米、南米、カナダ、アジア、オーストラリアなど世界30数カ国に及ぶ海外公演を行う。

曲目 祇園精舎 半田淳子作曲 敦盛の最期

半田さんより

単に古典を踏襲するだけではなく、琵琶の持つ表現の魅力を失わずに、現代に生きる人間の息吹が感じられるような演奏をめざして、琵琶を現代に生かしたい。この道に入りました時より、ずっとそのような思いを持ち続けて活動して参りました。

琵琶の持つ音楽の多様性をご紹介しつつ、皆さまにお楽しみいただけましたら、この上ない喜びでございます。

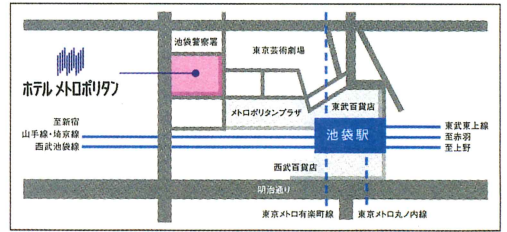
これからもどうぞよろしくご支援くださいますよう、お願い致します。

“撥捌の興奮”

同窓生の半田淳子さんの琵琶演奏を聴いた。東京・紀尾井ホールで幕が上がる。撥を構え一点を見つめて座っている。凜とした静寂の空間。突然そのしじまが破られる。那須与一(平家物語の扇的)は波に揺れる的に弓を引き絞り矢を放った。撥は弦を押さえ付け、削る如くに棹先まで登り詰める。唸り声をたて鏗矢は風を切って飛んだ。バシッ!! 扇は波に散った。踊る撥捌きにいつまでも興奮がさめやなかった。



ホテルメトロポリタン 2F 夕鶴



所在地 〒171-8505 東京都豊島区西池袋1丁目6番1号 Tel 03-3980-1111 (代表)

交通のご案内

電車・バスにて

○JR池袋駅メトロポリタン口徒歩1分

○JR、東武東上線、西武池袋線、東京メトロ有楽町線・丸の内線 池袋駅西口より徒歩3分

上田高女・染谷丘高校東京同窓会 平成19年度会計報告

(単位:円)

Table with columns for 収入 (Income) and 支出 (Expenses), listing items like 前年度より繰越, 年会費, 総会費, etc., with corresponding amounts.

上記のとおりご報告申し上げます

平成20年3月31日

会長 土屋 邦子 会計 柿沼 多美江 北沢 清美

監査の結果相違ありません

会計監査 桑原 安

相談役 幹庶監 会副会

- List of names and roles for the association, including 土小高桑水柿小北秋水, 屋林橋原野沼胎沢葉野, etc.

平成20年度役員候補者

平成20年

- List of names for the 20th year board candidates: 2月27日, 2月27日, etc.

平成19年

〔年間活動報告〕

- List of names for the 19th year board members: 3月13日, 3月13日, etc.

「郭公小屋」訪問

高14回卒 みずの せつこ

本校同窓会終了後の秋の一日、私達(東京同窓会員)は旧北御牧村御牧原の田んぼに集結し、稲刈りに挑戦しました。田植えも稲刈りも機械化が進み、腰の痛み、指の怪我などは今は昔の話、農業はすごく様変わりですが、その日私達は幼い頃行っていた手刈りをしました。爽やかな風が頬をなでる中、「昔取った杵柄」サクサクサク、サクサクと心地よい響きで刈り取り、慣れた手つきでスゲ藁でヒヨいと束ねて、櫛にかけてのそれは



何十年振りの懐かしくも楽しいことでした。5、6月カッコー、カッコーという鳴き声に包まれるという郭公小屋は360度信州の山々に囲まれています。

真っ赤に染まった山々の稜線に太陽が沈む光景は、幻想的でこの上なくロマンチックでした。絵心があったなら、その時間を停めた一刻、悠久の美しさを素敵に表現できたものをと心から悔やんだのです。残念無念!数年前初めて小屋を訪れたのは抜

けるような良い天気初夏でした。麦わら帽子、軍手、長靴姿でワイワイガヤガヤとジャガイモ畑の草取りでしたが、何処をどう取ったのか見当も付かない広さでした。採りたてのトウモロコシ、ジャガイモの美味しかったこと、感動でした。その夜満天の夏の星座を見るのをそれは楽しみにしていました。突然の台風襲来で残念でした。小屋の西側にイチイが植えてあり、かわいい赤い実がいっぱいになっていました。私の実家(中塩田)の庭にもあって、赤い実の奥の黒い種に少し渋みがありましたが、蜜のように甘く、小さい頃はよく食べたものでした。「木々を渡る風」の本(小塩節著ドイツ文学者 新潮文庫)によると『ヨーロッパの国々ではイチイの赤い実にはタキシンとアルカロイドがあり毒性が強いと聞かされてきた』……『ことによると日本には実の毒性がないのかもしれない、すすめられたけれど、私は指先でねばっこい果肉をつぶしただけで食べなかつた、かすかに甘い匂いがした』……と書かれている。



(イチイは成長の遅い常緑の針葉樹)。関東に住んではや半世紀、だんだん故郷が遠い存在になって来ている今、自分の原点とも言える信州の自然の土にこうして直接触れ、草にも触れ、仲間に出会えたのも同窓会のお陰と、とても嬉しくおもいます。今一番会いたいのはオオルリシジミ蝶、この蝶は現在絶滅危惧種で日本では御牧原と数箇所しか生殖していません。小屋の主はこれの保護に活動中です。今年も「郭公小屋へ呼んでもらえるかしら?」と勝手に気をもんでる私なのです。



はほのこと 思いだすままに

本45回卒 小幡 道子

上田高女という私の母が二回の卒業生です。当時の女学校はかなり高度な教育だったような気がします。美術の絵も日本画を思わせる繊細な線、美人画、風景画もあり、それらがきれいに描けている人です。母を見直す感じでした。あとになって私にもらいましたが、もう紙がぼろぼろになってしまいました。心のかりのまま片付けました。又和裁も雛型というのでしようか、縮尺で着物や袴等縫ったものがありました。手紙の字も変体仮名まじりのくずし字です。何か人様に知られたくない文も母の字ならば他人は読みにくいので葉書で充分間にあいました。勉強のことは判りませ

がかなり難しかったのではないでしょう。私は未っ子で余り多くは聞いていない感じです。でも当時の恩師は宮原小治郎先生という村上村の方でした。母は先生が亡くなる迄年賀状をかかさずうつつとお出ししてました。「教え子の中でもこんなに長くつづくのは珍しい」と褒めて下さったとの事でした。宮原先生はその後『家事及び裁縫』という月刊誌を出版されておりました。母は九十二歳で東京の兄の家で亡くなりましたが、それ迄は年なりに元気でしたので上田の同窓会へ参加するのが何よりの楽しみようでした。晩年は同窓会といつても同期の方はなくなつて寂しそうでした。私もそうですがお友達の名前が旧姓であったりお住いの所であったりで聞いている方はどの人がどの人かと判らないことが多いのですが、上田高女とのつながりで随分と楽しい思い出をしていました。私は長野県と関係のない人と結婚し、子育てや年寄の世話で実家の母の話し相手にも中々なれず今更のようにもつとつと話しを聞いておけばよかつたなと思つています。でも聞いていても私が右から左、忘れていくのかもしれないが。

三遊亭きん歌活動予定

5月5日(月・祝)

浦和タロ人会

さいたま市民文化センターにて

5月16日(金)

内幸町タロ人会第三十夜

内幸町ホールにて

5月18日(日) 羽村ゆとりぎ寄席 きん歌独演会
詳しくは、きん歌公式ホームページ「タロ人 きん歌の部屋」をご覧ください。

中澤きみ子コンサート スケジュール

「思い出の曲を集めて」

6月7日(土) 18:00開演

浜離宮朝日ホール

染谷丘高校同窓会の皆様へは

A席指定を

¥5000→¥4500、

B席指定を

¥4000→¥3500

でご提供させていただきます。

チケットお問い合わせの際、染谷丘高校同窓会誌を見たとお伝えください。

その他の日本公演

9月27日(土) 17:00開演

会場・茶陶苑(川越)

12月12日(金)

会場・トップンホール

チケットお問い合わせ・コンサートオフィス アルテ

03-33352-7310

03-33352-1665

Fax 03-33352-1665

Email: info@musicale.com

中澤きみ子さんから

この道を決心したのは染谷丘高校の旧校舎の音楽室、もう40年前のことです。

私の人生に信州の空気とヨーロッパの空気をブレンドしたのが今の私の音です。練習とコンサートは年令と共に体力勝負となりましたが音楽への情熱は深まるばかりです。皆さまに支えられ励まされながら今だ終点の見えない道を歩んでいます。



昨年は浅草アサヒビールのレストランで食事をしてから、隅田川を船で下りました。將軍の庭、浜離宮の三百年の松の前にて、記念写真を撮りました。とても楽しい一日でした。私事ですが、同級生が初参加して下さり、三十年ぶりの再会。うれしさとなつかしさで一杯でした。

編集後記

今年も、各方面でご活躍の方々の様子を載せることが出来ました。皆様のふれあいの場として、ご意見、ご希望、紀行文などをお寄せいただければ幸いです。